

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公開番号】特開2019-150174(P2019-150174A)

【公開日】令和1年9月12日(2019.9.12)

【年通号数】公開・登録公報2019-037

【出願番号】特願2018-35984(P2018-35984)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

【手続補正書】

【提出日】令和3年5月28日(2021.5.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

1 ベットランプと、

2 ベットランプと、

3 ベットランプと、

複数のリールと、

スタートスイッチと、

内部抽せん手段と

を備え、

内部抽せん手段により、所定の結果が決定される場合と、特定の結果が決定される場合と、を有するよう構成されており、

内部抽せん手段により所定の結果が決定された遊技では、遊技者の停止操作が受け付けられたことに基づいて、所定図柄組合せが停止され得るよう構成されており、

所定図柄組合せが停止された場合は、所定図柄組合せに対応した数の遊技媒体が付与され得るよう構成されており、

内部抽せん手段により特定の結果が決定された遊技では、遊技者の停止操作が受け付けられたことに基づいて、特定図柄組合せが停止され得るよう構成されており、

特定図柄組合せが停止された場合は、再遊技が付与され得るよう構成されており、

特別図柄組合せが停止された場合は、特別遊技状態が開始され得るよう構成されており、

内部抽せんの結果が所定の結果となった遊技において停止ボタンの有利な操作態様を報知可能な操作報知状態と、

操作報知状態とならない第1区間と、

操作報知状態となり得る第2区間と、

第2区間に移行してから、当該第2区間での差数をカウント可能な差数カウンタとを有し、

第2区間且つ特別遊技状態においても差数カウンタを更新し得るよう構成されており、

所定の遊技において内部抽せん手段により所定の結果が決定され、その後ベット数として3が設定され且つ遊技媒体の投入が可能な所定の状況でスタートスイッチの操作により実行された当該所定の遊技の次回の遊技において内部抽せん手段により特定の結果が決定

され、複数のリールが回転している状況下では、再遊技ランプは消灯しており、1ベットランプは点灯しており、2ベットランプは点灯しており、3ベットランプは点灯しており、その後特定図柄組合せが停止された以降の第1のタイミングにおいては、再遊技ランプは消灯しており、1ベットランプは点灯しており、2ベットランプは点灯しており、3ベットランプは点灯しており、その後の第2のタイミングにおいては、再遊技ランプは点灯しているよう構成されており、

電源断が発生し、その後電圧が所定値以下となった場合は、電源断時処理が実行され得るよう構成されており、

内部抽せん手段により特定の結果が決定された遊技では、遊技者の最終停止操作以外の停止操作が受け付けられたことにより停止された各リールに特定図柄組合せに対応する図柄がそれぞれ停止されている状況において、所定のリールに対する遊技者の最終停止操作が第3のタイミングで受け付けられて特定図柄組合せが停止されたときは、再遊技が付与され得るよう構成されており、

内部抽せん手段により特定の結果が決定された遊技では、遊技者の最終停止操作以外の停止操作が受け付けられたことにより停止された各リールに特定図柄組合せに対応する図柄がそれぞれ停止されている状況において、電源断が発生し、その後電圧が所定値以下となるまでの間に所定のリールに対する遊技者の最終停止操作が第3のタイミングで受け付けられ、その後電源断時処理が実行され、全てのリールが停止されたときに特定図柄組合せが停止されていなかった場合でも、電源復帰後の第4のタイミングで再遊技が付与され得るよう構成されている

ことを特徴とする回胴式遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本態様に係る回胴式遊技機は、

1ベットランプと、

2ベットランプと、

3ベットランプと、

複数のリールと、

スタートスイッチと、

内部抽せん手段と

を備え、

内部抽せん手段により、所定の結果が決定される場合と、特定の結果が決定される場合と、を有するよう構成されており、

内部抽せん手段により所定の結果が決定された遊技では、遊技者の停止操作が受け付けられたことに基づいて、所定図柄組合せが停止され得るよう構成されており、

所定図柄組合せが停止された場合は、所定図柄組合せに対応した数の遊技媒体が付与され得るよう構成されており、

内部抽せん手段により特定の結果が決定された遊技では、遊技者の停止操作が受け付けられたことに基づいて、特定図柄組合せが停止され得るよう構成されており、

特定図柄組合せが停止された場合は、再遊技が付与され得るよう構成されており、

特別図柄組合せが停止された場合は、特別遊技状態が開始され得るよう構成されており、

内部抽せんの結果が所定の結果となった遊技において停止ボタンの有利な操作態様を報知可能な操作報知状態と、

操作報知状態とならない第1区間と、

操作報知状態となり得る第2区間と、

第2区間に移行してから、当該第2区間での差数をカウント可能な差数カウンタとを有し、

第2区間且つ特別遊技状態においても差数カウンタを更新し得るよう構成されており、所定の遊技において内部抽せん手段により所定の結果が決定され、その後ベット数として3が設定され且つ遊技媒体の投入が可能な所定の状況でスタートスイッチの操作により実行された当該所定の遊技の次の遊技において内部抽せん手段により特定の結果が決定され、複数のリールが回転している状況下では、再遊技ランプは消灯しており、1ベットランプは点灯しており、2ベットランプは点灯しており、3ベットランプは点灯しており、その後特定図柄組合せが停止された以降の第1のタイミングにおいては、再遊技ランプは消灯しており、1ベットランプは点灯しており、2ベットランプは点灯しており、3ベットランプは点灯しており、その後の第2のタイミングにおいては、再遊技ランプは点灯しているよう構成されており、

電源断が発生し、その後電圧が所定値以下となった場合は、電源断時処理が実行され得るよう構成されており、

内部抽せん手段により特定の結果が決定された遊技では、遊技者の最終停止操作以外の停止操作が受け付けられることにより停止された各リールに特定図柄組合せに対応する図柄がそれぞれ停止されている状況において、所定のリールに対する遊技者の最終停止操作が第3のタイミングで受け付けられて特定図柄組合せが停止されたときは、再遊技が付与され得るよう構成されており、

内部抽せん手段により特定の結果が決定された遊技では、遊技者の最終停止操作以外の停止操作が受け付けられることにより停止された各リールに特定図柄組合せに対応する図柄がそれぞれ停止されている状況において、電源断が発生し、その後電圧が所定値以下となるまでの間に所定のリールに対する遊技者の最終停止操作が第3のタイミングで受け付けられ、その後電源断時処理が実行され、全てのリールが停止されたときに特定図柄組合せが停止されていなかつた場合でも、電源復帰後の第4のタイミングで再遊技が付与され得るよう構成されている

ことを特徴とする回胴式遊技機である。

<付記>

尚、本態様とは異なる別態様について以下に列記しておくが、これらには何ら限定されることなく実施することが可能である。

本別態様に係る回胴式遊技機は、
遊技の進行を制御するメイン処理と、
前記メイン処理の実行中に、所定時間ごとの割り込みによって実行する割り込み処理と、
複数のリールと、
複数のストップスイッチと、
内部抽せん手段と、
情報を表示可能な情報表示部と、
を備え、

ストップスイッチの有利な操作態様を有する遊技において、当該有利な操作態様を特定可能な情報を情報表示部に表示する指示遊技と、

遊技区間のうち、前記指示遊技を実行しない通常区間と、
遊技区間のうち、前記指示遊技を実行可能な有利区間と、
有利区間である報知態様と通常区間である報知態様とを少なくとも採り得る有利区間表示器と、

有利区間である場合にオンとなる有利区間フラグと、
新たに有利区間に移行してから、当該有利区間にて獲得した遊技価値数を計測可能な差枚数カウンタと
を備え、

前記差枚数カウンタのカウンタ値が所定の終了条件を満たした場合には、通常区間に移

行するよう構成されており、

前記メイン処理として、

前記差枚数カウンタのカウンタ値をクリアする処理 A と、

前記有利区間表示器を前記通常区間である報知態様とするための処理 B と、

有利区間フラグをオンからオフにする処理 C と

を少なくとも実行可能であり、

有利区間から通常区間に移行する場合には、前記処理 A 及び前記処理 B を実行した後に前記処理 C を実行するよう構成されている

ことを特徴とする回胴式遊技機である。